

平成 2 9 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

(平成 3 0 年 5 月)

目次

第1章 平成29年ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
I 委員会事業	2
1. 政策委員会事業	
(1) 委員会・部会活動強化への諮問	2
(2) 協会活性化のための会員増強の推進	2
(3) 決算・予算報告への諮問	2
(4) 政策委員会開催	2
(5) その他	2
2. 未来開発・パブリシティ委員会事業	
(1) 人材育成事業	2
(2) 会員の手による広報活動の推進強化	2
(3) IT(広報)の有効活用の推進強化	2
(4) ねじ業界振興発展のための事業	2
○ 「この世はねじでできている」(ロゴ)関係事業	
○ ねじの日の記念品 クリアファイル製作	
○ 五地域ねじ協会交流大会への協力(委員会広報対応)	
(5) 未来開発・パブリシティ委員会活動	2
(6) MF-Tokyo2017 出展企画(内容)検討、後パブ(事後検証)	2
(7) 協会内のEメール情報網構築推進活動	3
(8) 調査・広報関係事業	3
(9) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定協力	3
3. 資格委員会	
(1) 事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進	4
(2) 検定委員会(正・副・主席検定員会議含む)開催	4
(3) 技能検定ハンドブックの拡充・改訂作業	4
(4) 検定化に向けた検討・作業	4
(5) 技能検定講習会及び技能検定(協会認定)の実施	5
(6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進(検討)	6
(7) 資格委員会開催	7
(8) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定	7
(9) その他、資格制度に関する事業	7
4. 技術委員会事業	
(1) 講演会、技術講習会(研修会)及び技術関係視察、工場見学会等の開催	8
(2) ねじに関する安全啓発事業	8
(3) 圧造技術スクール(FTS)の開催(旭サナック株と共催)	8
(4) JIS/ISOに関する事業	9
○ JIS B 1180/JIS B 1181の本体規格製品の普及啓発活動	
○ JIS普及委員会開催/ ○ 建築委員会開催/ ○ JIS普及商工合同委員会設置・開催	
○ 公共建築関係作業/ ○ JIS規格に関する情報提供(日本ねじ研究協会との連携事業)	
(5) 被締結材の締付けに関する締付け係数及び座面限界面圧の測定実験	10
(日本ねじ研究協会委託事業)	
(6) サポートインダストリー振興事業	10
(7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業	10
(8) 技術関係書(CD版)の頒布	10
(9) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定	10
(10) その他、技術振興事業	10

5. 国際委員会事業	
(1) 2017年五地域ねじ協会交流会(於:札幌)の開催	1 1
(2) 海外ねじ業界(産業)との交流	1 2
○ ドイツのねじ業界との交流(日本ねじ研究協会との連携事業)	
○ 海外ねじ関係情報誌を通じた情報収集/提供(交流)	
(3) 国際委員会開催	1 3
(4) 海外ねじ関連企業工場見学及び表敬訪問	1 3
(5) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集・対応	1 3
(6) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定	1 3
(7) その他、国際協調・競争力強化関係事業	1 3
6. 取引委員会事業	
(1) 経済産業省「自動車取引適正化研究会」への協力/対応	1 4
(2) 取引委員会開催	1 4
(3) 消費税増税に伴う対応(情報収集 他)	1 4
(4) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応	1 4
(5) 全国中小企業団体中央会取引問題委員会への協力/対応	1 4
(6) 行政省庁との対応	1 4
(7) 諸会合における取引に関する情報交換	1 4
(8) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定	1 4
(9) その他 適正取引に関する事業	1 4
II 部会事業	1 5
III 組織強化事業	
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進	1 6
(2) ねじの伝来に関する講演会開催	1 6
(3) ねじのモニュメント建立事業の提案への対応	1 6
(4) 第5回 プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo2017)への出展	1 6
(5) 政府経済対策(政府支援策)等への対応	1 7
(6) ねじ関係団体との連携強化	1 7
(7) 中学生職場訪問への対応	1 7
(8) 会員企業の労務関係調査	1 7
(9) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供	1 7
(10) 関西ねじ協同組合への事務委託(関西支部における事務委託)	1 7
(11) 団体保険制度対応	1 7
(12) その他	1 7
第3章 社員総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等	1 9
1. 社員総会、理事会、執行役員会	
(1) 社員総会	1 9
(2) 理事会、執行役員会	1 9
2. 懇談会・工場見学会・懇親会 他	2 0
3. ねじ商工連盟総会	2 0
【平成29年度会員数推移】	2 1
【参考1】第5回社員総会議事録	2 2

第 1 章 平成 29 年 ねじの生産・輸出入状況 (暦年)

(1) 生産 (速報) (出所: 当協会推計)

数 量: 319.7 万トン (対前年比 6.2%増)

金 額: 8,900 億円 (対前年比 4.6%増)

数量・金額とも増加。

(過去最高—H19: 数量 334 万トン・H19: 金額 9,005 億円)

(参考—H21 (リーマンショック): 数量 222 万トン、金額 6,274 億円)

(2) 輸入 (出所: 財務省貿易統計)

数 量: 24.0 万トン (対前年比 4.8%増)

金 額: 899 億円 (対前年比 12.0%増)

数量増加、金額大幅増加。

(過去最高—H25: 数量 25.4 万トン・H27: 金額 921 億円)

(主要輸入先国: 中国、台湾、米国 (数量 3 位: 韓国))

(3) 輸出 (出所: 財務省貿易統計)

数 量: 34.5 万トン (対前年比 5.2%増)

金 額: 2,973 億円 (対前年比 10.7%増)

数量増加、金額大幅増加。

(過去最高—S52: 数量 38.1 万トン・H29: 金額 2,973 億円)

(主要仕向地: 中国、米国、タイ)

(参考) 需要業界生産動向 (速報)

(出所: 生産動態統計(輸送機械、電気・電子デバイス・情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械))

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
H28	920	193,901	8,716	6,597	37	10,128
H29	969	204,265	8,638	6,407	43	11,298
前年比	105.3%	105.3%	99.1%	97.1%	116.2%	111.6%

※ 生産及び需要業界生産動向は速報値のため変更される可能性有り

第2章 事業活動

I 委員会事業

1. 政策委員会事業（椿省一郎会長）

- (1) 以下の委員会・部会への活動強化のための諮問を実施して、協会事業の全体を統括
 - 事業推進5委員会 未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、取引委員会
 - 2部会 ソケットスクリー部会、ステンレスねじ部会
- (2) 協会活性化のための会員増強の推進
- (3) 決算・予算報告への諮問
- (4) 政策委員会(懇親会)開催
- (5) その他

2. 未来開発・パブリシティ委員会事業（藤田守彦委員長、勝亦良彰副委員長、高須俊行副委員長）

- (1) 人材育成事業
 - 昨年度に引き続き、委員会委員企業の中堅社員を育成する「パブリシティリーダー養成講座」(第一回コース)の開催/終了
 - 本年度スクーリング開催日：H29. 4. 21、5. 19、6. 16（全て(金)13:00～）(於:機械振興会館)
 - 欠席者に対する補講/メールを活用したフィードバック講座/参加者への実施後アンケートによるコースの評価を実施/定常化するための要件の検討
- (2) 会員の手による広報活動の推進強化
 - 「会報ねじ」の掲載記事の取材及び内容充実（会員からの投稿、五地域交流大会開催報告、トップに聞く 他）
 - ・「会報ねじ」の記事のアップ状況（H29. 4月～H30年3月末）：29件
- (3) IT(広報)の有効活用の推進強化
 - ・メルマガ配信状況（同期間）内部向け10件、外部向け8件
- (4) その他 ねじ業界振興発展のための事業
 - ロゴ「この世はねじでできている」の商標登録の完了に伴い、®マーク付ロゴマークの画像データ、取り扱い説明書の更新を行い配布。会員からのロゴマーク利用相談継続中
 - 本年度も上記ロゴマークを使用したクリアファイルを再製作し、ねじの日の記念品として採用
 - 五地域ねじ協会交流大会への協力（プレゼン用資料作成への協力（委員会広報対応））
- (5) 未来開発・パブリシティ委員会活動
 - 正副委員長会の開催
 - 基本方針や活動の具体化、今後の方向性等を検討（H29. 6. 8 他8回）
 - 未来開発・パブリシティ委員会の開催（H29. 5. 18(木)11:00～ 於:機械振興会館、振り返り会(下記「(6)MF-Tokyo2017 出展 出展結果 参照」）
 - ・パブリシティリーダー養成講座について
 - ・五地域ねじ協会交流大会のシンボルマークに関する報告
 - ・ねじロゴマークの取り扱いについて
 - ・6月1日「ねじの日」記念グッズ（ねじロゴマーク入りクリアファイル）について（平成29年度）
 - ・MF-Tokyo2017への出展について
 - ・その他 協会会員へのサービス向上並びに業界活性化のための活動に関する検討
 - これまで同様 Facebook グループ機能による同委員会の迅速な情報共有のさらなる推進
- (6) MF-Tokyo2017 出展企画（内容）検討、後パブ（事後検証）(出展内容:組織強化事業 参照)
 - 出展準備
 - 出展準備委員会(高須俊行副委員長)(昨年度設置)による出展準備
 - ・出展ブース設営・パネル内容等の検討・決定、展示企画の展示内容の具体化の検討・決定、イベントプログラムの検討・決定（コマ大戦含む）、集客企画の検討・決定（クイズ 他）、事前PR・後パブ用当日の記録・来場者への記念品(ノベルティ)等の広報に関する検討・決定、当日運営(体制)検討・決定（当日スタッフ(説明者含む)協力依頼、当日必要備品・スタッフ弁当等準備 他)、その他出展内容の具体化作業
 - ・展示企画の展示企業への取材、当日配布チラシ制作への協力

- ・設営・展示会主催者、展示設計施工業者、当日ブース内音響担当者、搬入搬出業者などとの出展に係わる（涉外）作業、他出展・撤去作業対応・協力、出展物の受入れ・返却対応（作業）
- ・会員企業並びに関係各社(団体)等への広報活動（来場広報 他）
- 展示品について
 - ・ねじ 20 数種類、火縄銃等の展示と共に、解説パネルの作成を決定／
前回に続いて、JIS 本体規格品、附属所品の展示・配布（技術委員会事業との連携）
- イベントについて
 - 以下のとおり展示会の内容を決定（担当者(大会委員長)への依頼（調整）など）
出展に向けた具体化を検討、決定）
 - ・ワークショップ
Dr. ラーセンの締め付け実験教室（出展結果:参加者数 100 名以上）
ねじブロックで遊ぼう！（出展結果:参加者数 180 名以上）
 - ・全日本製造業コマ対戦特別ねじ屋場所（出展結果:参加チーム 10 チーム）
- 様々なねじ、日本の技術力を紹介する
ビデオ「この世は'ねじ'で出来ている」（前回 MF-Tokyo 出展時作成）を常時放映
- 出展結果（後パブ（事後検証））
 - ・出展協力者への振り返りアンケート実施／集計
 - ・振り返り会開催
（H29. 8. 30(水) 振り返り会 16:00～、懇親会 17:30～ 於:機械振興会館 参加者数:20 名）
出展協力者による振り返り会を開催し意見交換、さらに協力関係者相互の懇親を諮った
 - ・出展に係るノウハウの蓄積（共同出展に係る課題抽出 等）
 - ・出展結果を理事会等で会員にフィードバックすると共に、会報・メルマガなどによる広報(周知)
- (7) 協会内の E メール情報網構築推進活動
 - 積極的な登録推進活動の推進
 - ・窓口責任者登録比率:98.0%（企業数 193 社）(H30. 3 月末日現在)
 - メルマガ読者登録推進活動の推進
 - ・内部メルマガ読者登録者数:750 名(正副窓口責任者含む)、外部登録者数:1,998 名、
合計:2,748 名(同期間)
- (8) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業
 - 年頭所感・ねじの日挨拶等の会報「ねじ」発表(協会ホームページ)対応
 - その他 協会ホームページの更新
 - 生産統計の作成（メールを活用した収集）／発表
 - 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成／発表
 - 「ねじの日」記念事業
 - ・ねじ関係報道各社(2 紙)へのねじの日及び当協会 P R 広告掲載
 - ・ねじの日記念「ねじロゴマーク入りクリアファイル」(企画・販売)の頒布
(H30. 6. 1 ねじの日記念事業)
(日本ねじ商業協同組合連合会への斡旋販売)
 - 官公庁、その他関連団体などからの業界関連情報の収集・提供
 - 官公庁、その他関連団体などからの調査（情報収集）依頼及び情報提供依頼への協力
 - メール等の IT ツールを活用した会員との双方向の情報収集／提供の実現検討
 - TV 局等、報道各紙・誌、他業界などからのねじ・業界・当協会に関する取材／問合せへの対応
 - ・会員企業／ねじ関係(関連)書籍／ねじ関係報道等の TV 出演(紹介)の紹介・P R
 - その他
 - ・その他 会員並びに業界(関連)情報の収集・提供
 - ・その他 当協会・会員・業界(関連)情報の広報／周知(P R)活動
- (9) 平成 30 年度 本委員会の事業計画案の策定協力

3. 資格委員会（佐藤義則委員長、樫本隆之副委員長）

- (1) 資格委員会事業に係わる事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進
- (2) 正・副・主席検定員会議 (H29. 1. 19(木)11:00～於:機械振興会館)
検定委員会開催 (H29. 4. 6(木)、4. 27(木)、5. 23(火)、6. 22(木)、7. 6(木)、8. 4(金)、9. 21(木)、
10. 5(木)、10. 11(水)、11. 8(水)、12. 12(火)、H30. 1. 30(火)、3. 13(火)
於:機械振興会館、AP 名古屋名駅、AP 大阪梅田東、(株)サトーラシ児玉工場、
(株)中島田鉄工所名古屋テクニカルセンター、(株)三和鋳螺製作所水走工場)
- (3) ねじ製造技能検定講習会及び協会認定で使用するねじ製造技能検定ハンドブック
の拡充・改訂作業
 - 拡充・改訂に向けた検討準備 (次回改訂作業まで改訂情報収集中)
 - 改訂版「ねじ製造技能検定ハンドブック」をねじ製造技能検定講習会受講者へ頒布
・改訂版「ねじ製造技能検定ハンドブック」印刷／発行(200冊)／
受講(検)者への受け渡し／希望者への頒布
- (4) ねじ製造技能検定(協会認定)の検定化に向けた検討
 - 1級試験及び3級試験の検討並びに作業試験の拡充検討
 - ・ 1級試験(実機作業試験)の検討／評価基準検討
 - ・ 3級試験の試験内容・評価基準検討
トライアル試験(昨年度作成)実施 (H29. 4. 6(木)15:00～ 於:AP 大阪梅田東)
 - 実機実技(作業)模擬(トライアル)試験実施検討(問題作成検討)
実機実技(作業)トライアル試験問題作成事前打ち合わせ
 - ・ ボルトフォーマー工 H29. 4. 26(水) 於:(株)三和鋳螺製作所 水走工場
 - ・ ナットフォーマー工／タッピング工 H29. 5. 9(火) 於:協会本部事務所
 - ・ ナットフォーマー工／タッピング工 H29. 6. 6(火) 於:協会本部事務所
 - ・ ナットフォーマー工／タッピング工 H29. 8. 24(木) 於:ウイंकあいち
 - ・ ローリング工 H29. 9. 25(月) 於:(株)朝日押捻子製作所
 - 実機実技(作業)試験トライアルの実施
 - ・ H29. 4. 27(木) 於:(株)三和鋳螺製作所 水走工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(ボルトフォーマー工:4ダイ4ブローヘッダー1級)
 - ・ H29. 9. 11(月) 於:(株)杉浦製作所 古居工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(ナットフォーマー工:6ダイ6ブローフォーマー2級)
 - ・ H29. 9. 11(月) 於:(株)杉浦製作所 古居工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(タッピング工:タッピングマシン1級)
 - ・ H29. 9. 20(水) 於:(株)サトーラシ 児玉工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(タッピング工:タッピングマシン1級)(タッピング工:タッピングマシン2級)
 - ・ H29. 9. 21(木) 於:(株)サトーラシ 児玉工場 実機実技(作業)試験模擬演習
(ローリング工:丸ダイス式転造盤1級)(ローリング工:プラネタリ式転造盤1級)
 - ・ H29. 10. 11(水) 於:(株)中島田鉄工所 名古屋テクニカルセンター実機実技(作業)試験模擬演習
(ボルトフォーマー工:2ダイ3ブローヘッダー1級)
 - ・ H29. 11. 14(火) 於:(株)朝日押捻子製作所 実機実技(作業)試験模擬演習
(ローリング工:平ダイス式転造盤1級)
 - 検定化に向けた諸手続き・具体的取組等の検討、関係諸規定の整備(見直し)、
その他 検定化に向けた作業
 - ・ 社内検定シンポジウム(厚生労働省主催)出席
(H30. 2. 20(木)14:00～ 於:イイノカンファレンスセンター(東京))
(より実現可能性の高い検定創設検討(模索)のため)
 - ・ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)(以下、MURC)(※)との打合せ(ヒアリング)
(H30. 3. 6(火)13:00～、H30. 3. 30(金)15:00～ 於:機械振興会館)
※ 厚生労働省から委託を受け社内検定制度に関する支援実施
 - ・ 社内検定制度に関し理事会・執行役員会で説明 (H29. 3. 15(木)3月理事会・執行役員会)
 - ・ 検定化に向けた新たな体制整備の検討(事前調整・準備作業)
(試験問題作成委員会(仮称)／実機実技試験委員会(トライアル作業試験)(仮称)他)

(5) ねじ技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の実施

○ ねじ製造技能検定講習会の実施に向けた取組み

- ・講習会で実施する模擬試験の検討・決定
- ・講師との講習内容の調整(拡充)及び講習会で使用するパワーポイントの見直し確認
講習会講師(基礎編及び製造編)との会議
(講師へのパワーポイント見直し確認/講習内容の調整)
(H29.7.6(木)13:30~於:AP名古屋名駅)
- 講習会講師(作図講習)との会議(各地域単位のレベル合わせ)
(H29.7.6(木)15:00~於:AP名古屋名駅)

・ねじ製造技能検定講習会反省会(慰労会)の開催

開催日:H29.11.8(水)15:00~(慰労会16:00~)
場 所:機械振興会館

○ ねじ製造技能検定講習会の実施

- ・関東・中部・関西で、地域毎3回の講習会(全カリキュラム3日間)を開催
(地域毎に同一日に開催)

開催日:① H29.8.24(木)、② 9.28(木)、③ 10.26(木)

場 所:関東(東京):機械振興会館 受講者数:37名
(会場) 中部(名古屋):愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 受講者数:37名
関西(大阪):天満研修センター 受講者数:58名
受講者数:計132名

カリキュラム 次頁カリキュラム1~3(計3日)で1セット(地域毎1~3を交替で実施)
(ねじ製造技能検定講習会カリキュラム 下記参照)

受講料 30,000円(3日間)-基礎編10,000円/製造編10,000円、テキスト代10,000円)
但し 当協会会員 15,000円(3日間)-基礎編5,000円/製造編5,000円、テキスト代5,000円)
〃 協会所属組合員 22,500円(3日間)-基礎編7,500円/製造編7,500円、テキスト代7,500円)

《ねじ製造技能検定講習会カリキュラム》

	時間	テーマ	講師
カリキュラム1	9:20~10:10	ねじの基礎知識について (50分)	(一社)日本ねじ工業協会 大磯義和氏
	10:20~11:40	ねじ用材料とその熱処理 (80分)	大阪精工(株) 古賀浩介氏
	8.24 関東 9.28 中部 10.26 関西	11:50~13:00 品質管理と検査 (70分)	(株)フセラシ 関東:吉岡正澄氏 中部・関西:高河原直樹氏
		14:00~15:00 表面処理について (60分)	日本表面化学(株) 山室正明氏
		15:10~15:40 安全衛生について (30分)	日産ネジ(株) 土居貴志氏
		15:50~16:30 模擬試験 (40分)	
カリキュラム2	9:20~11:40	冷間工程設計、ボルト生産設備及びボルト冷間圧造加工機の取り扱い方について (140分) (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)エーオー 松浦富康氏
	8.24 関西 9.28 関東 10.26 中部	12:40~14:40 ナット生産設備及びナット冷間圧造加工機の取り扱い方について (120分) (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)阪村機械製作所 中部・関西:遠藤信幸氏 関東:岡田泰雄氏
		14:50~16:45 ねじ転造、ねじ転造設備及びねじ転造生産設備の取り扱い方について (115分) (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)三明製作所 谷口正樹氏
カリキュラム3	9:20~11:10	ナットタッピング生産設備及びナットタッピング機の取り扱い方について (110分) (演習問題及び問題の解説を含む)	東京タッピングマシン(株) 太田譲氏 (株)野村工具製作所 林達志氏
	11:20~11:50	圧造油について (30分)	スギムラ化学(株) 山口直樹氏
	8.24 中部 9.28 関西 10.26 関東	12:50~14:45 ねじの製図講習 (115分) (JISに準じたボルトの製図方法及びボルト製品の作図実習)	関東:(株)互省製作所 木田秀樹氏 中部:(株)メイドー 松島敏之氏 関西:(株)丸エム製作所 出羽弘氏
		14:55~16:50 ボルトの検査測定 (115分) (JISに準じたボルトの測定方法及びボルト製品の測定実習)	(株)ミントヨ 関東:藤本拓也氏 中部:吉田宏氏 関西:森田康介氏 (株)メイドー 藤本晃生氏

- ねじ製造技能検定（協会認定）の実施に向けた取組み
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の受検資格等の基本事項について確認
結果 2級のみ、受検資格：実務経験3年以上、
受検対象者：上記受検資格を満たす全ての方
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）実施に向けた活動計画の検討・決定
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施運営に携わる検定員増強、委嘱に関する作業
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）1級創設のための検討・準備作業
 - ・ 学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の確認／見直し
 - ・ 学科試験の確認・検討・問題内容の見直し・試験問題作成（H29.6.22(木)検定委員会 他）
 - ・ 実技試験（要素試験）の確認・内容見直し、試験問題作成
例年の検定委員会の中で試験問題を検討するのに加えて、本年は H29.5.23(火)検定委員会を特に問題作成委員会と位置づけ深掘りして検討、さらに、作業別の検討担当者を決め本年度の講習会に出席の上問題傾向分析をすると共に、担当間でメールを活用した検討を実施（別途担当別会議実施も有り）
 - ・ 実技試験（作業試験）内容・試験問題確認
 - ・ 実技試験の作業試験に対するチェック項目の確認・チェックシートの確認
 - ・ 実技試験の作業試験に対する検定員のレベル合わせ・評価技能確認及びさらなる向上
模擬実技試験の実施 (H30.2.8(木)11:00～於：AP名古屋名駅)
検定員レベル合わせ・評価技能向上(確認)測定試験研修会の開催
(H30.2.8(木)13:30～於：AP名古屋名駅)
検定当日の担当分け等の3地域別検定員会開催
(H30.2.8(木)15:30～於：AP名古屋名駅)
 - ・ 関東・中部・関西同日(同時間)実施体制の確認・検討・見直し
 - ・ 作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要な備品等の準備
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）当日の試験段取り(プログラム)の検討・準備
- ねじ製造技能検定（協会認定）の実施
 - ・ 関東・中部・関西の3地域によるねじ製造技能検定（協会認定）実施（同一日実施）
開催日：H30.2.22(木)
実技試験：10:00～（作業試験60分／要素試験60分）
学科試験：13:45～14:45
場 所：関東(東京)：機械振興会館 受検者数：32名
(会場) 中部(名古屋)：愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 受検者数：32名
関西(大阪)：天満研修センター 受検者数：65名
受検者数：計129名
 - 受検料：
学科試験：8,000円/実技試験：20,000円
但し 当協会会員 学科試験：5,000円/実技試験：10,000円
但し 協会所属組合員 学科試験：6,500円/実技試験：15,000円
 - 《受検カリキュラム》 9:20 実技試験受付開始 9:45 着席完了
10:00 実技試験開始（途中作業試験と要素試験の入換え時間あり）
・ 作業試験：60分
・ 要素試験：60分
12:30 実技試験終了
(休憩)
13:15 学科試験受付開始 13:35 着席完了
13:45 学科試験開始（学科試験：60分）
14:45 学科試験終了
合格者59名、一部合格者(学科)27名、一部合格者(実技)5名
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の採点／合否判定／次年度に向けた改善点確認
(合否判定会議：H30.3.13(火)11:00～於：機械振興会館)
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の合格発表（H30.3.16(金)）
合格者の受検番号を協会ホームページで公表
 - ・ ねじ製造技能検定（協会認定）合格証、一部合格証送付、その他 合格者(一部含む)対応
 - ・ ニュースリリースの発表
- (6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進（検討）
 - ・ ねじ製造業の職業能力評価基準並びに活用促進ツール類のさらなる活用促進・普及活動推進検討

(7) 資格委員会開催 (H29. 8. 3(木)14:00～於:東京會館)

- これまでの経緯及び取組みについて確認
- 検定化に向けた課題について確認 (共有)
- 委員に対する課題解決に向けた協力依頼
 - ・ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)への協力
(受講・受検協力及び講師・検定員拡充への協力依頼)
 - ・検定化に向けた新体制整備への協力
(試験問題作成委員会(仮称)など新たな検定実施体制構築に向けた委員の派遣依頼)
 - ・実機実技(作業)トライアル試験への協力
(実機実技トライアル試験を実施するための検定員派遣及び
同トライアル試験実施の協力依頼)
 - ・検定創設に向けた意見交換

(8) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定

- ねじ製造技能検定講習会(各地域3回)(※)(予定)
 - H30. 8. 23(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)
 - H30. 9. 27(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)
 - H30. 10. 25(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)
- ねじ製造技能検定(協会認定)(予定)
 - H31. 2. 21(木) 東京、名古屋、大阪(3ヶ所)

※ 次年度以降、ねじ製造技能検定講習会開催日は、
8月、9月、10月第四木曜日とすることに決定

(9) その他、資格制度に関する事業

- ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の事務処理
(日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、受検(講)受付処理、
受検(講)票送付、データ処理、他)
- 資格委員会事業の体制(整備)拡充及び事務処理体制整備の検討

4. 技術委員会事業（長谷川裕恭委員長）

(1) 講演会、技術講習会(研修会)及び技術関係視察、工場見学会等の開催

○ 技術講習会／報告会／プレゼン

- ・ 摩擦係数及び座面限界面圧に係る調査研究の報告会

(日本ねじ研究協会との共催)(平成 28 年度委託事業)

(H29. 6. 15(木)15:40～於:機械振興会館 参加者数 FIJ/JFRI:58 名)

内 容:「ねじ締結体の設計法の概略と摩擦係数及び座面限界面圧の共同研究について」

講 師: 広島大学 名誉教授 澤 俊行 氏/㈱本田技術研究所 白川 敦士 氏

- ・ ドイツねじ協会(DSV)へのプレゼン (日本ねじ研究協会との共催)(国際委員会事業)

(H29. 10. 30(月)於:機械振興会館 参加者数 FIJ/JFRI:9 名、DSV:6 名)

プレゼンテーマ:「小形フランジナットの発表」

説明者:名古屋工業大学 教授 萩原 正弥 氏

プレゼンテーマ:「ISO/JIS の課題」

説明者:(一社)日本ねじ工業協会/日本ねじ研究協会 専務理事 大磯 義和 氏

- ・ 幾何公差の講習会開催 (日本ねじ研究協会との共催)

(H29. 4. 21(金)13:30～於: 大阪 鐵鋼會館

参加者数 ねじ協:65 名、ねじ研:4 名、他 3 名)

テーマ:「ねじ部品の幾何公差とその解釈について」

講 師:いすゞ自動車㈱

CAE デジタル開発推進部デジタル推進グループ 大林 利一 氏

- ・ ねじの伝来に関する講演会開催 (関西支部事業)
- ・ ねじ製造技能検定講習会開催 (資格委員会事業)

○ 工場見学会

- ・ ㈱川崎重工業㈱明石工場 (H29. 6. 13(火)14:40～)(関西支部事業)(二輪車・産業用タービン工場)

- ・ ㈱モリタ 三田工場 工場見学会 (H29. 8. 29(火)14:00～)(関西支部事業)(消防車メーカー)

- ・ NITTO SEIKO (Thailand) CO.,LTD. 見学会 (H30. 3. 23(木)13:30～)

(ステンレスねじ部会事業)(正会員海外進出メーカー)

- ・ タイ精線㈱ 工場見学 (H30. 3. 23(木)15:30～)

(ステンレスねじ部会事業)(ステンレス鋼線メーカー)

○ その他視察

- ・ 羽田クロノゲート (ヤマト運輸㈱ 運営) 見学会

(H29. 12. 14(木)14:00～ 参加者数:23 名)(関東支部事業)

(2) ねじに関する安全啓発事業

○ 広く一般向けのねじの安全啓発事業実施に関する検討

(3) 圧造技術スクール関係事業 (旭サナック㈱と共催)

平成 29 年度は、下記のとおり工程設計コース 4 回、金型設計コース 2 回の計 6 回開催し、計 133 名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第 151 回 29.6.14～16	工程設計コース	旭サナック㈱圧造技術センター 参加者 24 名
第 152 回 29.9.20～22	金型設計コース	〃 参加者 22 名
第 153 回 29.10.18～20	工程設計コース	〃 参加者 24 名
第 154 回 29.12.13～15	工程設計コース	〃 参加者 24 名
第 155 回 30.2.13～15	工程設計コース	〃 参加者 22 名
第 156 回 30.3.13～15	金型設計コース	〃 参加者 17 名

(4) JIS/ISOに関する事業

- 六角ボルト(JIS B 1180)・六角ナット(JIS B 1181)の本体規格製品の普及・PR・啓発活動
 - ・ リーフレット(「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」)の配布(継続事業)
 - ・ 関係業界(企業)他への切り替えに関する解説・普及・PR・切り替え要望説明等の実施(継続事業)
 - ・ ねじ商工連盟総会並びに当協会理事会/執行役員会/その他会合での
普及啓発の取組み説明
 - ・ 政府・行政省庁への報告/協力依頼/対応等(継続事業)
 - ・ 本体規格/製品に関する業界内外からの問合せ(供給体制及び時期等含む)対応
 - ・ 「六角ボルト・六角ナット(JIS B 1180/JIS B 1181)本体規格品の供給先企業一覧について」
を問合せ先(需要業界など)に配布/PR/普及説明(継続事業)
- JIS普及委員会開催(H29.5.17(水)、7.20(木)、9.27(水)(懇親会)、12.18(月)(懇親会)
全日14:00~於:関西支部会議室)
 - ・ 同委員会によるさらなる切り替え普及・PR及び
それに伴う課題の解決(対応)策を検討・取り纏め
(今後の普及方針(特に普及対象・普及先(業界)・方策)の検討・調整)
 - ・ 商業者向けの本体規格品の普及促進対応
(普及に関する現状説明/依頼事項検討/
商工共同の普及に関する委員会(JIS普及商工合同委員会)設置準備検討/
JIS普及商工合同委員会審議結果を受けた課題(指摘意見・提案)対応・調整・検討)
 - ・ 建築委員会への対応
(建築業界向けの普及課題(建築委員会の審議内容(指摘意見・課題))への対応(検討)/
建築関係者向け切り替え説明資料の検討(意見交換)・作成(他))
 - ・ 公共建築工事標準仕様書(平成31年版)改訂への対応
(改訂要望提案の検討/国交省からの質問(指摘)事項等課題への対応検討/
改正一次案への対応(検討・準備))
- 建築委員会開催(平成28年度設置)
 - ・ 同委員会(懇親会)開催(H29.6.5(月)、8.29(火)両日14:30~(懇親会)於:機械振興会館)
建築業界の使用現状に関する意見交換(建築業界の現状認識共有)/
建築業界への本体規格(品)の普及説明資料の検討(意見交換)/作成/完成)
 - ・ 建築業界への本体規格(品)の普及説明資料
「母屋・胴縁類の取り付けに使用する六角ボルト・ナットについて」
(以下、建築向け説明資料)普及促進
建築向け説明資料の建築業界メディア(建築業界誌「鉄構技術」)への投稿
(投稿原稿編集協力(委員長及び編集者との対応、校正))
同投稿誌からの抜き刷り作成(500部印刷)
建築向け説明資料(抜き刷り)の周知(広報)・普及促進
(協会ホームページ掲載/関係先への送付)
 - ・ 平成30年度の建築業界向け普及促進活動の検討
建築向け説明資料を活用した普及活動の準備
(建築設計/施工団体主催会議での本件説明のための対応準備/
建築向け説明資料発送などのその他普及促進作業)
- JIS普及商工合同委員会(六角ボルト・六角ナット)設置・開催
 - ・ 同委員会設置準備
委員選任・委員会開催(準備)対応(ねじ商連及び各地域組合との対応(調整)他)/
その他同委員会設置に関する対応(協会内の認識共有)他)
 - ・ 同委員会開催
(H29.11.20(月)於:東京會館、H30.3.12(月)於:名鉄グランドホテル 両日14:00~)
商側にこれまでの普及促進活動(建築委員会及びJIS普及委員会検討内容)の説明/
商側への普及に関する意向調査結果(工側による商側役員に対する
本体規格品への普及活動における意向調査の実施)に関する意見交換/
工側の普及方針案に関する意見交換/商側からの課題・提案等への検討(対応)/
今後の普及方針の商工認識合わせのための課題検討(調整・対応)

- 公共建築関係作業（対応）
 - ・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成 31 年版 改訂対応
 - 国交省(※)への改訂要望提出
 - 国交省からの改訂要望に関する質問対応及び国交省とのヒアリング
(ヒアリング:H29. 11. 15(水)13:30～於:国交省)
 - 同仕様書改訂一次案への対応作業
(一次案の関係者へのフィードバック/一次案への改訂要望検討準備)
 - ※ 国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 整備課
- その他 JIS 規格に関する情報提供/P R・周知（日本ねじ研究協会との連携事業）
 - JIS の制定・改正に関する情報提供、JIS 規格に関する問合せ等への対応並びに周知・P R
- (5) 被締結材の締付けに関する締付け係数及び座面限界面圧の測定実験
(日本ねじ研究協会委託事業)(平成 28 年度委託開始)
 - 薄板、高分子材料、異種材料その他新材料の被締結材とボルト（鋼及びステンレス等）を組み合わせた場合の摩擦係数及び座面の限界面圧の基礎データの実験・収集について、日本ねじ研究協会(同研究会が「ねじ締結体の設計法」の研究に取り組んでいるため)に研究を委託
 - ・ 平成 30 年度事業として同研究の継続研究(委託)を決定
- (6) サポートインダストリー振興事業
 - 「特定ものづくり基盤技術高度化指針」改正作業への協力
 - ・ 接合実装技術・機械制御技術合同 WG 出席 (H29. 10. 31(火)10:00～於:経済産業省)
 - ・ 指針改正案への意見提出/Pブリックコメント対応
 - 会員啓発のための作業
 - 公募関係案内等の会員への情報提供等の活用促進対応
 - 申請作業に関する会員へのサポート対応
- (7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業
 - 化学物質管理規制(海外含む)、省エネ・温暖化対策等に関する情報収集、その他環境対策対応
- (8) ねじ入門書(CD版)の頒布、ねじ読本(CD版)の頒布
- (9) 平成 30 年度 本委員会の事業計画案の策定
- (10) その他、技術振興事業

5. 国際委員会事業（大川克良委員長、嶋田守副委員長）

(1) 2017年五地域ねじ協会交流大会（於：札幌）の開催

1) 本年度は、当協会が幹事となり、以下のとおり、五地域ねじ協会交流大会を実施

<大会概要>

日 程：10月19日(木)～20日(金)
 場 所：北海道 札幌 札幌プリンスホテル
 代表者会議 於：ホテルタワー
 交流大会懇親晩餐会 於：国際館パミール

参 加 者：一般社団法人日本ねじ工業協会 33名
 中国機械通用零部件工業協会(緊固件分会) 22名
 香港螺絲業協会 15名
 韓国 Fastener 工業協同組合 13名
 台湾螺絲工業同業公會 32名
 通訳 6名
 合計 121名(報道2名/事務局含む)

大会構成： 10/19(木)：代表者会議(17:00～19:50)
 20(金)：交流大会懇親晩餐会

<懇親晩餐会のスケジュール>

内 容	時 間
椿会長挨拶(本大会内容の提案プレゼン)	17:00～17:20
参加地域代表者及び国際委員長紹介	17:20～17:25
次回開催地域発表 次回以降の開催形式発表	
次回開催地代表挨拶 ・中国機械通用部工業協会緊固件分会 薛康生会長	17:25～17:30
歓談(テーブル毎の自己紹介実施) ・乾杯:嶋田副会長 ・閉会挨拶:大川副会長	17:30～19:00

※ 来年の幹事(協会)は中国機械通用零部件工業協会(緊固件分会)に決定

2) 2017年度五地域ねじ協会交流大会 代表者会議について

○ 本年度の交流大会内容について

当協会から本年度の交流大会内容について以下のとおり提案

(交流大会懇親晩餐会の会長挨拶の中でも提案)

- ・協会間の理解を深める機会(場)とすること
 (当協会の主な委員会活動を紹介(資格委員会/未来開発パブリシティ委員会))
- ・参加者各個人の交流をはかる機会(場)とすること
 晩餐会におけるテーブル毎の各地域参加者(各地域2名程度)による自己紹介を実施
 (参加者から事前に提出いただいた会社情報を活用)

○ 今後の交流大会開催形式について

当協会から、事前に各協会から提出された意見をもとに、次の3点について投票により決定したい旨提案

① 開催頻度/② 交流大会の内容及び規模/③ パーティー費用の負担

これに対し、この場でさらなる議論をしたいとの提案があり意見交換を実施

その結果、次回開催地を優先して決定することになり、次回は中国機械通用零部件工業協会(緊固件分会)が幹事となり、来年10月で開催される展示会の会期に合わせて交流大会を開催することになった(予定)

また、次回開催日の6カ月前までに、中国機械通用零部件工業協会(緊固件分会)が、大会テーマ、内容、形式、規模、参加可能人数を示し、各協会に対して意見を求めることとなった。また、参加費用の負担については幹事(協会)が決定し、次回大会で大会のあり方(内容、運営)等について継続審議することとした

(2) 海外ねじ業界（産業）との交流

1) ドイツのねじ業界との交流（日本ねじ研究協会との連携事業）

昨年度の当協会からの訪独代表団派遣を受けて、本年度はドイツねじ協会（以降、DSV）の代表団（代表7名）が訪日し交流を行った。

○ 訪日スケジュール

日 時：平成29年10月29日（日）～11月2日（木）
訪日者：ドイツねじ協会7名

<訪日団スケジュール>

日時	内容
10月29日（日）	・日本到着 ・歓迎夕食会
10月30日（月）	・日独交流会合（10:00～14:10 於:機械振興会館） ・夕食懇談
10月31日（火）	・昼食懇談 ・(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所 見学（13:00～） ・夕食懇談
11月1日（水）	・(株)サトーラン 児玉工場 見学（10:30～） ・昼食懇談 ・ホンダ(本田技研工業(株)) 寄居工場 見学（14:00～） ・夕食懇談
11月2日（木）	・帰国

○ 日独交流会合について

a) 2017年10月30日（月）機械振興会館において当協会代表との交流会合を開催

参加者：ドイツねじ協会側 6名、通訳1名
日本側参加者 日本ねじ工業協会 7名
日本ねじ研究協会 2名
報道、その他 傍聴者 9名

<日独交流会合スケジュール>

日時	時間	内容
10月30日（月） 於:機械振興会館	10:00	・開会(大磯専務)
	10:05	・参加者紹介
	10:15	・歓迎挨拶(椿会長)
	10:20	・議題及び議事録作成者の確認
	10:30	・統計情報の発表 日本の統計/ドイツの統計
	11:00	・関心事項の意見交換 日本の人材教育(発表:佐藤副会長)/ドイツの人材教育/ 企業連携の提案/材料開発、IoTなどの紹介・意見交換/ 小形フランジボルトナットの発表(発表:萩原教授)/ ISO/JISの課題(発表:大磯専務)
		(途中:昼食懇談)
	14:00	・今後の交流のあり方
	14:10	閉会挨拶(大川副会長)

b) 意見交換概要

<企業連携>

会員企業の生產品目を相互に情報提供することとし、その記入フォームの雛形書式はドイツ協会側で作成する

本件に関して、成功例などのベストプラクティス事例及び新しい技術の紹介等、若手人材が興味を持つ内容にしたいなどの意見が出た

<今後の交流>

今後、交流は2年に1回として、興味のあるテーマを相互に提示した上で、テーマを決めて具体的に話し合える交流とすることとなった

c) 今回の会合の報告書は別途双方で作成し交換する

2) 海外ねじ関係情報誌を通じた情報収集/提供（交流）(台湾並びにイタリア)

台湾（雑誌名）：Fastener World

イタリア（雑誌名）：Italian Fasteners

(3) 国際委員会開催

○ 第一回委員会 (H29. 5. 18(木)13:00～於:機械振興会館)

2017年 五地域ねじ協会交流大会 (於:札幌)の開催及び今後のあり方について

a) 交流大会のあり方について

- ・前大会において、当協会からの見直し提案(隔年開催、規模縮小、行事内容は主催者判断)は、結論が先延ばしとなり本年開催の交流大会で結論を出すことになっている旨再確認
- ・今大会において、当協会からは上記見直し提案を再度することを確認
- ・本件に関する他地域からの意見が寄せられた段階で、集約は難しいことも予想されるが、この方向性で確認が得られるよう対処することを確認

b) 札幌大会開催について

- ・今回(札幌)交流大会では講演会を取りやめ懇親会だけとすることとして、懇親会の内容を再検討する必要性を確認(懇親会は丸テーブルによる着席スタイル、アトラクションの手配の必要性など)
- また、準備の詳細(食事、アトラクション等)は事務局から委員に提案した上で行う
- ・今回のテーマは、観光ではなく(各地域間の)交流であることを当協会からのメッセージとして発信していくことを確認
- ・行事(開催)内容の変更を全参加者に(他協会へも)連絡すること、またそれに伴い事務的に調整をする事を確認

○ 第二回委員会 (H29. 10. 4(水)13:30～於:機械振興会館)

a) 2017年 五地域ねじ協会交流大会 (於:札幌)について

- ・準備の進捗状況について
- ・交流大会のあり方に対する各地域からの提案状況(内容)について
- ・代表者会議における決定(審議)事項の確認について
- ・懇親晚餐会について

b) ドイツねじ協会代表の訪日団について

- ・訪日団の詳細スケジュール案について
- ・会員向けに日独交流会合への傍聴(懇親)希望を案内する件について

(4) 海外ねじ関連企業工場見学及び表敬訪問

- ・タイ日本大使館表敬訪問(タイ)(ステンレスねじ部会事業)
- ・日系(会員)ねじメーカー工場見学(タイ)(ステンレスねじ部会事業)
- ・ステンレス鋼線メーカー工場見学(タイ)(ステンレスねじ部会事業)

(5) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集・対応

日本及び諸外国間のFTA/EPA協定締結状況、運用状況、TPP情報、原産地規則等の情報収集提供
(RCEP(東アジア地域包括的経済連携)の原産地規則に関する経産省からの問合せに関する意見収集 他)

(6) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定

(7) その他、国際協調・競争力強化関係事業

<参考> 日本における EPA/FTA/TPP の状況について

シンガポール	2007年9月	発効(改正議定書)
メキシコ	2012年4月	発効(改正議定書)
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
アセアン全体(AJCEP)	2010年7月迄	順次発効(インドネシア除く)
	(サービス・投資について2016年9月交渉終了)(現在、サービス・投資を組込む改正議定書最終調整中)	
フィリピン	2008年12月	発効
スイス	2009年9月	発効
ベトナム	2009年10月	発効
インド	2011年8月	発効
ペルー	2012年3月	発効
オーストラリア	2015年1月	発効
モンゴル	2016年6月	発効
カナダ		交渉中
コロンビア		交渉中
日中韓		交渉中
EU	2017年12月	交渉妥結
東アジア地域包括的経済連携(RCEP)		交渉中(RCEP:日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド)
トルコ		交渉中
GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国		交渉延期(GCC:サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマーン)
韓国		交渉中断中
TPP(環太平洋パートナーシップ)	2016年2月	署名済
	2017年1月	日本締結及びアメリカ離脱
		(シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシア、メキシコ、カナダ、日本(2013年7月参加)の計12カ国で交渉)
		→ CPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)
	2018年3月	署名済(アメリカを除く11ヶ国による)

6. 取引委員会事業（後藤晴雄委員長）

- (1) 経済産業省「自動車取引適正化研究会」への協力／対応
 - 自動車産業適正取引ガイドラインのフォローアップ調査(※)協力(実施)／集計作業
 - ※ 部工会 自主行動計画フォローアップ調査((一社)日本自動車部品工業会作成)
 - 同研究会委員推薦（委員：後藤晴雄取引委員長・副会長）
 - 第9回同研究会出席／発言（H29. 11. 22(水)13:00～於：経済産業省）(大磯専務同行)
 - その他 同研究会への対応（同研究会への資料取り纏め 他）
 - 自動車産業適正取引ガイドラインの改訂版発表への対応(周知・広報 他)
 - ねじ業界の自主行動計画作成に向けた検討準備
- (2) 取引委員会開催（H30. 2. 23(金)14:00～於：関西支部会議室）
 - 「未来志向型の取引慣行に向けて」について
 - 情報交換
 - 今後の取組みについて
- (3) 消費税増税に伴う対応（情報収集 他）
- (4) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応
（業種別下請適正取引等の推進のためのガイドラインの周知並びに業界取組みの説明対応、
未来志向型の取引慣行に向けて(世耕プラン)の周知徹底(会員への説明)、
活用状況等の情報収集、その他 取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供)
- (5) 全国中小企業団体中央会(以降、全中)取引問題委員会への協力／対応
 - 取引問題委員会委員推薦（委員：後藤晴雄取引委員長・副会長）
 - 取引問題委員会出席／発言（H29. 2. 27(火)15:00～於：全中会議室）
- (6) 経済産業省 等の行政省庁との対応（会員企業への企業訪問への対応、情報収集）
- (7) 諸会合における取引に関する情報交換
- (8) 平成30年度 本委員会の事業計画案の策定
- (9) その他 適正取引に関する事業

II 部会事業

○ 部会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	(第一回) 29.6.15 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・平成 29 年度部会事業の具体化について ・ステンレス アロエリンクに関して ・ステンレスねじの市況状況等について 他
	(第二回) 29.9.12 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・平成 29 年度部会事業の実施について ・ステンレス アロエリンクに関して ・ステンレスねじの市況状況等について 他
	(第三回) 29.12.12 17:00～18:00 大阪:北むら 参加者 10名 懇親会 18:00～20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入状況について ・タイ視察団派遣について ・平成 30 年度部会事業の検討について ・ステンレス アロエリンクに関して 他 ・講演「中国、台湾 ステンレスねじメーカーの現状に関して」 講師:アジアプランニング㈱ 執行役員 稲見 智和 氏 ≪終了後 懇親会≫ 懇親会 下記参照
	(第四回) 30.3.22 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 12名	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ視察団報告 ・統計報告 ・平成 30 年度視察先候補について ・ステンレスねじの市況状況等について 他
ソケットスクリュー部会 (平栗徳夫部会長)	30.3.15 10:30～11:30 東京:機械振興会館 参加者 11名	<ul style="list-style-type: none"> ・統計報告/協会事業報告 等 ・各社意見交換 ・質疑応答 他

○ 懇親会

	日時・場所 参加者数	内容・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	29.12.12 18:00～20:00 大阪:北むら (注1) 参加者 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会 (注1) 北むら (心齋橋駅)(大阪市北区)
ソケットスクリュー部会 (平栗徳夫部会長)	30.1.25 17:00～19:00 東京:浜松町 東京會館 参加者 33名	<ul style="list-style-type: none"> ・賀詞交歓会 (日本ソケットスクリュー工業協同組合との共催)

○ 海外市場視察

	日時・場所 参加者数	見学先・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	29.2.22～2.24 タイのステンレス ねじ市場視察団派遣 訪問都市: タイ バンコク (サムレットプラーカーン) 参加者 8名 ≪大使館敬訪問≫ 29.2.23 10:00～11:00 ≪ステンレス鋼線工場見学≫ 29.2.23 13:30～14:30 ≪日系ねじ工場見学≫ 29.2.23 15:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・在タイ日本国大使館表敬訪問 (バンコク) タイの状況(市場)について書記官と面談 ・工場見学 (サムレットプラーカーン) (以下参照) タイのねじに関する情報交換 見学先: <ul style="list-style-type: none"> ・タイ精線㈱ (THAI SEISEN CO., LTD.) (ステンレス鋼線製造工場) ・NITTO SEIKO (Thailand) CO.,LTD. (日系ねじ製造工場)

III 組織強化事業

(1) 魅力ある協会運営のための事業推進

- 協会の財政の健全化、魅力ある事業の推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、事業推進5委員会・2部会(上記参照)の活動を活性化
- 協会活性化のためのさらなる会員増強の推進
- 関東・中部・関西の各支部懇談会(施設・工場見学会)開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業

関東支部施設見学会・懇親会開催

(H29. 12. 14(木) 16:00～於:羽田エクセルホテル東急 参加者数:21名)

中部支部における懇親会開催

(H29. 9. 7(木) 16:30～於:名鉄グランドホテル 参加者数:44名)(理事会終了後)

関西支部懇談会(懇親会)・工場見学会開催

(H29. 6. 13(火)工場見学 14:40～(株)川崎重工業(株)明石工場 参加者数:27名、
懇談会(懇親会) 18:30～於:ホテル日航大阪 参加者数:23名)

関西支部工場見学会開催 (H29. 8. 29(火) 14:00～於:(株)モリタ 三田工場 参加者数:13名)

社員総会懇親会開催 (H29. 5. 18(木) 16:30～於:浜松町東京會館 参加者数:84名)

賀詞交換会開催 (H30. 1. 18(木) 15:00～

於:WTC コンファレンスセンター(世界貿易センタービル) 参加者数:198名)

忘年会開催 (H29. 12. 7(木) 16:30～於:ホテル日航大阪 参加者数:62名)

(2) ねじの伝来に関する講演会開催 (H29. 12. 7(木) 15:00～於:ホテル日航大阪 参加者数:56名)

テーマ:「日本へのねじ(鉄砲)伝来について」

講師:堺鉄砲研究会 主宰 澤田 平 氏

(3) ねじのモニュメント建立事業の提案(鹿児島県中種子町(種子島)より)への対応について

中種子町役場の担当者が上京し平成29年度総会で本件についてプレゼンテーション実施

(H29. 5. 18(木) 当協会総会終了後)

(4) 第5回 プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo2017)への出展

○ 出展概要

展示会名称: プレス・板金・フォーミング展 (MF-Tokyo2017)

会 期: H29. 7. 12(水)～15(土) 10:00～17:00 (最終日 16:00)

場 所: 東京ビッグサイト 東4～7ホール

主 催: (一社)日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社(当協会は特別協賛)

全出展者: 265社(内 海外メーカー 17ヶ国 80社)

全入場者: 累計 31,715人(通期実人員)(重複なし)

協会ブース: キャッチフレーズ:「この世はねじでできている！」

テ ャ マ:「いつだって、どこだって解決する”ねじ”」

小 間 番 号: 6-68(東6ホール)(小間数:10小間)

ブース来場者: 1,407名(ねじネタクイズ参加者数)

○ 協会展示品概要

- ・ 出展各社のご協力により、ねじ20数種類、火縄銃を解説パネルと共に展示
(出展協力各社より当日スタッフ(展示品に関する説明者含む)への協力)
- ・ JIS 本体規格品、附属所品の展示・配布(技術委員会事業との連携)

<展示品内容(概要)>(順不同)

日本のねじづくりは「種子島」から -「解決するねじ」のはじまり-	
ねじは生活の部品	水や油が侵入しないねじが欲しい
走りを追求したい	長期間振動してもゆるまないねじが欲しい
薄くて美しいねじが欲しい	過酷なモータースポーツに耐えるねじが欲しい
ゆるみにくさと、耐震性、作業効率を両立したい	海水を浴びつづけても錆びないように
製造工程を簡単にしたい	宇宙の特有の厳しい要求に応えるねじが欲しい
自動車をより軽くエコにしたい	いつでも規格どおりのねじを製造するために
線路をしっかり固定したい	もっともっと小さいねじが欲しい

○ イベント概要

- ・ ワークショップ

<Dr. ラーセンの締め付け実験教室>(参加者数 100名以上)

Dr. ラーセン担当: (株)平戸製作所 平戸 眞澄 氏

(株)イチャナギ 一柳 達朗 氏

(株)イチャナギ 大塚 直浩 氏

<ねじブロックで遊ぼう！> (参加者数 180 名以上)

ねじブロック担当: 橋本螺子(株) 橋本 秀比呂 氏
橋本螺子(株) 伊藤 直彦 氏
橋本螺子(株) 齋藤 豊 氏

- ・全日本製造業コマ対戦特別ねじ屋場所 (参加チーム 10 チーム)
(H29. 7. 15(土)13:00~(受付 11:00~、予選 13:10、本戦 14:00、表彰 15:30~)
大会委員長: マツダ(株) 松田 英成 氏

- 様々なねじ、日本の技術力を紹介する
ビデオ「この世は'ねじ'で出来ている」(前回 MF-Tokyo 出展時作成)を常時放映

(5) 政府経済対策(政府支援策)等への対応

- 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
- 政府経済対策情報提供
 - ・中小企業信用保険法(セーフティネット保証)の業種指定への対応(資料作成準備等)
 - ・政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
経済産業省担当官からの理事会・執行役員会等での政府施策等に関する説明及び
ホームページ等によるその他情報提供

補助金等政府支援策への申請手続きに関する会員へのサポート対応
経営強化法による支援等に関する説明会開催

(H29. 5. 10(水)14:00~ 於:関東鋳螺釘工業協同組合会議室 参加者数 24 名)

- 電力需給対策・原子力発電対策への対応(政府広報等への対応)

(6) ねじ商連、日本ねじ研究協会等ねじ関係団体との連携強化

(日本ねじ研究協会との講習会、調査研究報告会及び海外交流事業 共催、
ねじ商連との JIS 規格(ボルト・ナット本体規格品)普及促進活動対応検討 他)

- (7) 中学生職場訪問への対応(公立中学校生徒の当協会事務局への職場見学訪問/ねじ業界説明)
(H29. 10. 12(木)10:30~ 於:機械振興会館 訪問者数 5 名)

(8) 会員企業の労務関係調査

- 会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

調査名	調査内容・回答社数
① 平成 29 年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 10 社
② 平成 29 年夏期手当要求、妥結状況	回答 10 社
③ 平成 29 年度従業員賃金調査	調査内容 ○ 従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規学卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 4 社
④ 平成 29 年年末手当要求、妥結状況	回答 14 社

(9) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供

- (10) 関西ねじ協同組合への事務委託(関西支部における事務委託)

(11) 団体保険制度対応

- 団体グループ保険制度対応
 - ・加入促進及び新グループ保険制度運用のため作業対応
(事務処理及び引受保険会社との制度運営対応(会議含む))
(新グループ保険制度-(一社)日本歯車工業会との共済)

- 国内/輸出向け団体 PL 保険制度対応
加入促進及び制度運用のため作業対応(事務処理含む)、その他情報提供

(12) その他

- 経済産業省等の行政省庁との情報交換(会員企業への企業訪問への対応、情報交換)
- (一社)日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会、
中央職業能力開発協会(JAVADA) 等他団体との連携・対応

- ねじ商工連盟関係事業
ねじ商工連盟事務局作業

(平成 29 年度の総会において今後は当連盟事務局を当協会が専属で担当する事が決定)

(平成 30 年度 総会日決定(H30. 8. 1(水))調整 等)

ねじ商工連盟総会開催 (H29. 8. 3(木)12:00~於:東京會館 工 20 名、商 17 名、報道 4 名)

- 大阪府知事表彰(商工関係者・優良従業員)候補者推薦作業／在阪会員 5 社・5 名受賞
- 請求書の電子化に関する対応作業(協会発行の請求書を電子化しペーパーレス化・省力化を図る)
電子請求推進団体((一社)エコマート)との制度運営対応／
会員への電子化登録案内(普及促進)／登録データ入力
- 会員企業の慶弔対応
- 栄典関係対応作業

第3章 社員総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等

1. 社員総会、理事会、執行役員会

(1) 社員総会

第5回社員総会は、5月18日に東京で開催。（議事録は「参考1」に記載）

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第5回 社員総会	29.5.18 15:00～16:10 東京・浜松町 東京會館 出席 137名 (内委任状及び 書面決議 77名)	第1号議案 平成28年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件 第2号議案 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件 第3号議案 任期満了に伴う役員改選(案)承認に関する件 ○ 総会終了後懇親会 来賓挨拶:経済産業省 製造産業局 産業機械課長 片岡 隆一 様

(2) 理事会、執行役員会

平成29年度は、理事会、執行役員会について1回の書面審議並びに同日・同時間・同場所で4回開催、年間で計5回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第17回 理事会 第17回 執行役員会 (書面審議)	決議日:29.4.19 提案者:代表理事 相澤正己 同意(異議なし) 理事 9名 同意監事 2名 同意執行役員 60名	決議された事項 (1) 平成28年度事業報告案 (第5回社員総会上程について) (2) 平成28年度決算報告案 (第5回社員総会上程について)
会長、副会長及び 専務理事等互選の ための理事会 同執行役員会	29.5.18 16:20～16:40 東京・東京會館 出席理事 10名 出席監事 2名 出席執行役員 67名 (内委任状 17名)	第1号議案 会長、副会長及び専務理事等決定の件 第2号議案 関東、中部及び関西支部長決定の件 第3号議案 顧問、相談役、参与委嘱、委員長及び部会長の件
第18回 理事会 第18回 執行役員会	29.9.7 15:00～16:30 名古屋・ 名鉄グランドホテル 出席理事 7名 出席監事 2名 出席執行役員 65名 (内委任状 31名)	議題1 賛助会員への入会申請について 議題2 執行役員選任案 報告事項 (MF-Tokyo 展示会報告、 五地域交流大会日程、独ねじ協会訪問団の来日予定 他) 情報交換 (代表者) ○ 理事会開催に先立ち H30概算要求/税制性改正要望及び中小企業支援策について 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤 勉 様 ○ 理事会終了後懇親会開催
第19回 理事会 第19回 執行役員会	29.12.7 14:00～15:00 大阪・ ホテル日航大阪 出席理事 8名 出席監事 2名 出席執行役員 67名 (内委任状 37名)	議題1 会費規程改正案について 議題2 正会員の会員資格要件案について 議題3 平成30年度行事予定案について 報告事項 ・ 五地域ねじ協会交流大会開催報告 ・ ドイツねじ協会会合報告 ・ 建築委員会での検討結果報告 情報交換 (代表者) ○ 理事会開催に先立ち 中小企業支援策等について 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤 勉 様 ○ 終了後講演会/忘年会開催
第20回 理事会 第20回 執行役員会	30.3.15 15:00～16:00 東京・ 機械振興会館 出席理事 9名 出席監事 2名 出席執行役員 66名 (内委任状 33名)	議題1 賛助委員への入会申請について 議題2 第6回社員総会付議案件について (1) 平成30年度事業計画案について (2) 平成30年度収支予算案について 議題3 執行役員候補案について 情報交換 (代表者) ○ 理事会開催に先立ち ・ 会長より以下の点について説明 60周年記念事業の企画を未来開発パブリシティ委員会にて検討 ねじ製造技能検定を厚生労働省認定の社内検定制度として検討 ・ 中小企業支援策等について 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 阿部 利恵 様

2. 懇談会・工場見学会(施設見学会)・懇親会 他

懇談会・工場見学会・懇親会(施設見学会) 他の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	29.5.18 東京・浜松町 東京會館	16:30~18:30 参加者 84 名
関西支部懇談会・ 工場見学(視察)会・懇親会 (後藤晴雄支部長)	29.6.13 《工場見学会》 見学先:川崎重工業(株) 明石工場 (兵庫県明石市) (二輪車、産業用ガスタービン工場) 《懇談会/懇親会》 大阪・ホテル日航大阪	工場見学会 14:40~16:40 参加者 27 名 (懇談会 18:00~18:30 参加者 26 名) 懇親会 18:30~20:30 参加者 23 名
関西支部工場見学会 (後藤晴雄支部長)	29.8.29 《工場見学会》 見学先:(株)モリタ 三田工場(兵庫県三田市) (はしご車、高機能消防車メーカー)	工場見学会 14:00~15:00 参加者 13 名
中部支部における懇親会 (9月理事会終了後)	29.9.7 名古屋:名鉄グランドホテル	懇親会 16:30~18:30 参加者 44 名
忘年会(講演会) (12月理事会終了後)	29.12.7 講演会/忘年会:大阪・ホテル日航大阪 《来賓》 ・経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤 勉 様 ・経済産業省 近畿経済産業局 製造部 製造産業課 課長補佐 芝野 知子 様	講演会 15:00~16:30 参加者 56 名 忘年会 16:30~18:30 参加者 62 名 (講演:組織強化事業 参照)
関東支部視察会・忘年会 (佐藤義則支部長)	28.12.12 《視察》 視察先:ヤマト運輸 羽田クロノゲート (物流ターミナル) (東京都大田区) 《忘年会》 羽田エクセルホテル東急(羽田空港隣接)	視 察 14:00~15:30 参加者 23 名 忘年会 16:00~18:00 参加者 20 名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	30.1.18 東京・WTC コンファレンスセンター (世界貿易センター) 《来賓挨拶》 経済産業省 製造産業局 産業機械課長 片岡 隆一 様	15:00~16:30 参加者 198 名

3. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会 (椿省一郎 新会長 筒井三男 新副会長)	29.8.3 12:00~14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者 ねじ協会側 20 名 ねじ商連側 18 名 報道 4 名	《報告事項》平成 28 年度収支決算並びに 平成 29 年度収支予算案について 《報告事項》任期満了に伴う正副会長改選について (総会終了後) ○ ねじ商連側組合代表者 4 名より、JIS(B 1180/B 1181)本体 規格品の普及活動について、質問並びに意見発表 ○ ねじ協会側より、JIS(B 1180/B 1181)本体規格品への 切り替えに当たっての Q&A 発表・説明 (ねじ商連側への回答説明) (説明者:大磯義和専務理事) ○ JIS(B 1180/B 1181)本体規格品普及活動に関する意見交換

【平成29年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員 (内団体)	155 (5)	0 (0)	3 (0)	152 (5)
賛助会員	44	1	0	45
合計	199(5)	1(0)	3(0)	197(5)

平成29年度 入会社数

賛助会員 1社

賛助会員

日本タッパ株式会社

平成29年度 退会社数

正会員 3社

正会員

三喜鋳螺株式会社
株式会社浅善鉄工所
株式会社巴製作所

(関西支部)
(関東支部)
(関西支部)

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成21年度('09)	9(0)	7(1)	155(5)	190(5)
	4	0	35	
平成22年度('10)	2(0)	4(0)	153(5)	192(5)
	5	1	39	
平成23年度('11)	1(0)	2(0)	152(5)	192(5)
	1	0	40	
平成24年度('12)	3(0)	0(0)	155(5)	196(5)
	2	1	41	
平成25年度('13)	0(0)	2(0)	153(5)	193(5)
	2	3	40	
平成26年度('14)	2(0)	4(0)	151(5)	192(5)
	2	1	41	
平成27年度('15)	3(0)	1(0)	153(5)	193(5)
	0	1	40	
平成28年度('16)	4(0)	2(0)	155(5)	199(5)
	4	0	44	

(会員種別変更含む)

上段：正会員(内団体数)

下段：賛助会員

【参考 1】第 5 回社員総会議事録（一般社団法人日本ねじ工業協会）

1. 日 時
平成 29 年 5 月 18 日（木曜日） 15:00～16:10
2. 場 所
東京都港区浜松町 2-4-1
世界貿易センタービル 39 階 東京會館「オリオンルーム」
3. 出 席 者
正会員総数 155 名
出席正会員数 60 名
委任状及び書面による議決権行使者 77 名
4. 議 題
第 1 号議案 平成 28 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件
第 2 号議案 平成 29 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件
第 3 号議案 任期満了に伴う役員改選（案）承認に関する件
5. 議 事
開会に先立ち平成 28 年度にご逝去された会員企業物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第 29 条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし、定足数に達している旨を報告。
定款第 27 条の規定により、相澤正己会長が議長となった。
議事に入る前に、来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 服部 嘉博 氏より挨拶があった。
続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、後藤晴雄副会長の 2 名を指名して議事に入った。

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)承認に関する件

専務理事より、資料 1-1「平成 28 年度事業報告書(案)」、資料 1-2「平成 28 年度決算報告書(案)」に基づき説明があった。

続いて監事を代表して池田裕之監事が、「去る 4 月 18 日に、監事 2 名が一般社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度における事業内容、財産の状況、会計並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令または定款に違反していないと認める」旨の報告があった。

議長より意見を求めたところ、出席会員より以下の意見があった。

【質問 1】

未来開発パブリシティ委員会事業費の中で委託費約 500 万円が支出されている。これは IT 運営費及び電子化した会報ねじの記事更新等の費用が含まれていると思われる。紙媒体で発行していた時の費用を削減するために IT 化したはずなのに、経費がほとんど減っていない。また職員の手間が省けた分の人件費も減っていない。理由を説明願いたいと質問があった。

<回答>

これに対し専務理事より、職員の勉強不足もあって IT 関連にあっては業者へ委託している。これまでも事務局でやるべきことは勉強してやるように指導しており、今後は外部委託を減らすよう努力していくと説明した。

【質問2】

会員相互の懇親を深めるために懇親の場はとても重要だと考える。委託費用等を削減し、懇親会費を無償化すべきである。

<回答>

懇親会費の無償化については政策委員会でも意見がでており、無償化を実現する様ご指摘を受けて検討しているところである。今期より無償化することは難しいため、来期以降無償化できるよう引き続き検討を行っていくと専務理事より説明した。

議長より第1号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第2号議案 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件

専務理事より資料2-1「平成29年度事業計画書(案)」、資料2-2「平成29年度収支予算書(案)」について、説明があった。

議長より意見を求めたところ、出席会員より以下の意見があった。

【質問】

今期の予算は単年度収支が赤字予算となっているが承知しているか。

管理費が支出全体の5割以上となっている。事業費にウエイトをおいて管理費の比率を下げるべきである。

<回答>

赤字予算は承知している。また経費の削減努力をこれまでも行っているが、さらなる削減を行うように引き続き努めていきたいと専務理事より説明した。

議長より第2号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選(案)に関する件

専務理事より、本日の第5回社員総会終結時をもって、現役員は任期満了となる。このため各支部の役員選考委員会において、資料3記載の役員候補が選任されているため、審議願いたいと説明した。

議長が議場に第3号議案を諮った結果、異議なく承認された。

また任期は定款第16条2項により、第7回社員総会までであると説明があった。

【理事】

		(順不同、敬称略)
椿 省一郎	株式会社互省製作所	代表取締役社長 (重任)
大川 克良	大川精螺工業株式会社	代表取締役社長 (重任)
佐藤 義則	株式会社サトーラシ	代表取締役社長 (重任)
長谷川裕恭	株式会社メイドー	代表取締役社長 (重任)
藤田 守彦	藤田螺子工業株式会社	常務取締役 (重任)
後藤 晴雄	株式会社朝日押捻子製作所	代表取締役社長 (重任)
榎本 隆之	株式会社三和鋸螺製作所	代表取締役会長 (重任)
高須 俊行	富士セイラ株式会社	代表取締役社長 (新任)
嶋田 守	株式会社フセラシ	代表取締役社長 (新任)
大磯 義和	一般社団法人日本ねじ工業協会	専務理事 (重任)

【監事】

後関 満之	株式会社後関製作所	代表取締役会長 (重任)
池田 裕之	池田金属株式会社	代表取締役社長 (重任)

なお相澤前代表理事は、第5回社員総会終結時をもって退任した。

また一昨年のプレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo215)出展の際に作成した「この世はねじでできている」のロゴマークを商標登録し、会員は無償で利用できるため、本日配布したロゴマーク取扱い説明書に則って積極的に利用してほしいと説明した。

次に今期で勇退する理事及び執行役員を紹介したのち、会員である株式会社音戸工作所の加藤千秋社長が旭日単光章を受賞されたことを報告した。

議長は、以上をもって第5回社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、16時30分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成29年5月18日

一般社団法人日本ねじ工業協会

議長	会長	相澤	正己
署名人	副会長	椿	省一郎
署名人	副会長	後藤	晴雄